

# 行政視察報告書

中核市移行特別委員会行政視察		令和元年8月28日(水)～29日(木)
視察先 及び 視察事項	・令和元年8月28日(水)	1 中核市移行について
	山形県山形市	ア 中核市移行の経緯（議会の対応含む）
		（ア） 中核市移行の目的、メリット
		（イ） 移行に伴う組織、推進体制、施設並びに専門職員の確保、育成
		（ウ） 県との協議・調整・連携における課題
		（エ） 移行に伴う経費と財源措置の精査
		（オ） 市民への周知、説明に対する課題と対応（合意形成）
		イ 市の特徴的な施策について
		ウ 保健所関連施設の設置について（保健所現地視察含む）
		（ア） 設置の概要
		（イ） 既存施設（保健センター等）との一元化の対応と今後の課題
		（ウ） 関係団体との調整・対応
		（エ） 市保健所の将来像
		（オ） 食肉衛生検査施設設置の概要と課題
	・令和元年8月29日(木)	1 中核市移行について
	埼玉県川口市	ア 中核市移行の経緯（議会の対応含む）
		（ア） 中核市移行の目的、メリット
		（イ） 移行に伴う組織、推進体制、施設並びに専門職員の確保、育成
		（ウ） 県との協議・調整・連携における課題
		（エ） 移行に伴う経費と財源措置の精査
		（オ） 市民への周知、説明に対する課題と対応（合意形成）
		イ 市の特徴的な施策について
		ウ 保健所関連施設の設置について（保健所現地視察含む）
		（ア） 設置の概要
	（イ） 県保健所併設における課題と対応	

	(ウ) 保健センターとの一体的な業務提供と 今後の課題
	(エ) 関係団体との調整・対応
	(オ) 市保健所の将来像

山形県山形市

1 中核市について

ア 中核市移行の経緯

(ア)中核市移行の目的メリット

- 目的
  - 市民福祉の向上…身近な自治体として多くの行政サービスを担う
  - 魅力あるまちづくり…健康医療先進都市の実現に向けての取り組み
  - 圏域のリーダー的役割…周辺自治体と地域連携を強化・牽引する
- メリット
  - 保健衛生教務のパワーアップ…保健所業務との一元化
  - 市民サービスのレベルアップ…身近な業務を市が担う
  - 都市のイメージアップ…リーダー的都市として広域連携を進める
  - 事務手続きのスピードアップ…事務手続きのスピードアップ
  - 行政の透明性アップ…包括外務監査制度の義務化

(イ)施設並び、専門職員の確保、育成

- 組織…新たに必要な職員数を合計 91 名とした
- 推進体制…中核市推進本部、関係部長会議、幹事会、専門部会
- 施設…保健所関連施設以外に整備した施設なし  
(保健所・動物愛護施設・食肉衛生検査施設)
- 専門職員の確保・育成
  - 確保…獣医師、薬剤師について平成 29 年度から計画的は採用を図る
  - 育成…平成 29 年度から県へ派遣研修、今年度から県からの派遣指導  
県へ派遣 10 名(H29)、16 名(H30)、県から派遣 14 名(R 元)

(ウ)県との協議・調整・連携における課題

- 県とは平成 27 年度から協議を開始、協力体制を作ることに尽力する

(エ)移行に伴う経費と財源措置の精査

- 移行後は基準財政需要額の増による地方交付税増、国庫支出金、手数料などにより、収支合計 55,419 千円となり、移行準備経費 803,030 千円に充てていける。

(オ)市民への周知、説明に対する課題と対応（合意形成）

- 市民に向け数多くの周知、PR に努める…市民への周知に苦心した

イ 市の特徴的な施策について

(ア)事務権限の委譲だけでなく、県との差をもたせた事業を実施  
ウ 保健所関連施設の設置について（保健所現地視察含む）

(ア)設置の概要、

- 保健所が設置されている霞城セントラルは、駅前の再開発で建設された官民複合ビルで、その3～5階に保健所は設置されている。従前の保健課(市役所本庁内)と保健センター（霞城セントラル内）を市保健所の組織として統合・再編し一本化している。保健センターがすでに入っていたこともあり、施設・スペースともに充実している施設である。

(イ)既存施設（保健センター等）との一元化の対応と今後の課題

- 官民複合ビルということで、検査施設を設置できないため、独自の施設を設置するまでの間、検査業務の大部分は県に委託している
- 他に、動物愛護センターを新たに整備している

(ウ)関係団体との調整・対応

(エ)市保健所の将来像

(オ)食肉衛生検査施設設置の概要と課題

- 土地・建物等は県の施設を有償で購入、県からの派遣職員5名を入れて24名体制
- 県からの派遣職員は3年の期間のため、その間の人材育成と新規職員の確保が課題である。

エ 所感

山形県として初めての中核市ということで、県との協議・調性などでは苦労したとのことが伺えた。とくに、人材確保については、県も職員が不足しており、獣医師については、県からの派遣を依頼したが、原則3年ということで厳しい状況であるとの話をお聞きしました。

本市の体制についても県からの十分な支援を得るために県との協議が重要だと言えます。特に、保健所・食肉衛生検査施設の設置は大きな課題であり、職員の育成、確保が共通した課題と言えます。

また、中核市移行のメリットとして、いくつか示されていたが、市民が実感として、すぐ感じられるのはやはり「事務手続きのスピードアップ」は大きい点であると思います。また、単に「事務権限の委譲」でなく、県との差を持たせる施策について検討し実施することは大変重要であり、議会としても研究する必要を感じました。

移行してまだ半年ということで、中核市移行後の課題については、これからという感じでした。

霞城セントラルは駅前に位置し、保健センターであったこともあり、施設も充実していました。本市は保健所を第二段階として新庁舎に統合する計画である

が、そこまでの施設を確保できるか課題であると言えます。

## 埼玉県川口市

### 1 中核市について

#### ア 中核市移行の経緯

平成 26 年 2 月 10 日 市長就任会見で中核市移行を表明

平成 30 年 4 月 1 日 中核市移行・保健所開所

#### (ア)中核市移行の目的、メリット

- 行政のスピードアップ（例…身体障害者手帳交付 2～3 月→1 月へ）
- きめ細やかな行政サービスの提供…地域の実情に合わせた対応が可能
- 市独自の取り組み…地域の実情に合わせた条例、計画の展開

#### (イ)移行に伴う組織、推進体制、施設並びに専門職員の確保、育成

- 庁内検討の場として中核市移行検討委員会を設置
- 中核市移行時における新たな組織体制
- 施設…福祉監査課の設置、保健所関連の施設の設置
- 専門職員の確保・増員…平成 28 年度から平成 30 年度にかけ 100 名増員
- 職員研修…埼玉県等への派遣 H28、H29 で延べ 58 名
- 県からの人的支援…H30 年度 21 名

#### (ウ)県との協議・調整・連携における課題

- 埼玉県・川口市事務担当者連絡会議を設置、11 回開催

#### (エ)移行に伴う経費と財源措置の精査

- 財政影響額…歳入歳出同額

#### (オ)市民への周知、説明に対する課題と対応（合意形成）

- 市民への周知啓発…市民説明会(5 回)、出前講座(14 団体)他
- 課題…市民の中核市に対する理解や認識が低かった

### イ 市の特徴的な施策について

#### (ア)県からの委譲事務の充実等

- 食品衛生監視指導及び感染症対応の強化
- 「貧困ビジネス」に関する規制の強化

#### (イ)中核市移行を契機に実施した新規拡充事業

- 胃がん検診の助成対象に胃内視鏡検査を追加
- 飼い主のない猫の不妊・去勢手術費用助成制度の創設
- 市内医療機関マップの作成…好評
- その他 5 事業

### ウ 保健所関連施設の設置について（保健所現地視察含む）

#### (ア)設置の概要…

- 保健所他…埼玉県南部保健所の一部を改修し設置
- 検査施設…鳩ヶ谷庁舎

(イ) 県保健所併設における課題と対応…狭隘で県へ借用スペースの拡大を要望他

(ウ) 保健センターとの一体的な業務提供と今後の課題

- 小児慢性特定疾病のきめ細やかな業務提供
- 難病や精神保健の相談に対応できる人材育成が課題

(エ) 関係団体との調整・対応…開設前年度に三師会に説明会と講演会の実施

(オ) 市保健所の将来像…新庁舎建設後(R5)に鳩ヶ谷庁舎に機能を集約

## エ 所感

中核市移行して一年半経過、移行にともなうメリットなど具体的にお聞きすることができました。また、中核市への移行については、川口市でも市民の理解や認識が低く、周知や合意形成が課題であったということでした。松本市においても同様であると思います。

メリットとして分かりやすかったのは、山形市と同様に行政のスピードアップです。身体障害者手帳交付が移行まえは2～3月かかったの、移行後は1カ月でできることでした。また、地域の実情に合わせた条例の作成や計画の展開ということで、中核市移行を契機に実施した新規拡充事業なども教えていただきました。本市でも具体的にはどのようなものが策定できるか示していくことが大切だと感じました。

移行に伴う経費がどうなるか、多くの方から聞かれますが、財政的影響額については、歳入歳出同額であったと説明がされました。基準財政需要額の増額による地方交付税の増額、国庫支出金などが見込めるとのことでした。山形市でも同様に財政負担が生じない試算となっておりました。中核市移行により、財政負担が増えると思っている市民の方の多いことから、本市も財政的な点での見通しを示すことが大切だと思います。

また、川口市は令和5年度以降に新庁舎建設を予定しており、その時保健所機能も新庁舎に集約する予定とのこと、松本市と同じであり、今後の取り組みの参考になると思いました。

令和元年10月1日

松本市議会議員 村上 幸雄 様

中核市移行特別委員 横内裕治